教養教育科目 講義科目

授業科目名	創造性の開発	科目コード	配当年次	単位
担当教員	安達　隆男	FB76	2	4

科目の概要

創造性は社会にとっても個人にとっても、貴重で重要な資質・能力である。創造性を開発し、発揮する場面には、組織を通じて行われる場面もあるし、個々人にゆだねられる場面もある。また、現状を修正していくべき場面もあるし、未知の物事を新規につくり出していかなくてはならない場面もある。いずれの場面においても、「生」を輝かせ充実させていくのは、創造をおいてほかにない。
本科目では、能力開発の中でも際立って今日的要求にこたえるテーマである「創造性開発」について学習する。

科目の到達目標

①社会や仕事における創造の必要性、意味、方法論、テクニックが理解でき、説明することができる。
②創造的な問題発見、問題設定、解決策を検討することができる。

テキスト	『創造性の開発』亀崎 恭尚,産業能率大学,2013年

テキストの読み方

①「創造性」という言葉の意味、その意義や必要性を理解する。
②創造性を発揮し、アイデアを発想するための方法やテクニックを理解する。
③創造性を発揮し、様々な問題を解決するための分析手法を理解する。
④問題解決のためのプロセスとその中での創造の位置づけを理解する。
⑤企業や社会における創造性発揮の実態、状況を理解する。

単位修得の方法

リポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、４単位を修得できる。